

## (2) 広報誌の作成について

### 1. 現状の計画

- (1) 令和2年度に委員会のなかで、広報手法を検討し、橋梁への関心を高めることを目的とし、「新潟市橋物語」を発行

#### ◆ 新潟市橋物語の概要

- ・ 橋梁の歴史や種類のほか、新潟市の管理橋梁を具体的に紹介
- ・ 維持管理の取り組みを、写真や分かり易いイラストを交えて具体的に紹介することで、身近な橋梁でどのような取り組みが行われているのかを知ってもらう。

### 2. 新たな広報誌の方向性

#### (1) 目的

- 「市の計画」を市民に知ってもらう。
- 「施設を使い切る」という方針で修繕を行っているため、将来的に「通行規制」や「集約化撤去」もあり得ることを柔軟い表現で周知する。

#### (2) 使用方法

- 橋梁の将来のあり方について、地元調整を行う際に使用する。
- 区役所等の窓口のラックに設置することも想定している。

#### (3) ターゲット

- 地域住民への説明会の際に使用することを目的としていることから、40歳代から高齢者を対象とする。

### 3. これまでの検討内容

項目	内容
令和6年8月9日 橋梁アセットマネジメント検討委員会 事前打合せ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 素案や進め方に対する確認</li> </ul>
令和6年11月26日 橋梁アセットマネジメント検討委員会 市民広報手法検討部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事前打合せを基に修正した素案に対する詳細な確認</li> </ul>
令和6年12月1日 貝柄地区でのワークショップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広報誌にワークショップの内容を掲載することの確認</li> <li>・ 広報誌の素案を使用した説明の実施</li> </ul>

### 4. 今後の対応

- (1) 本委員会での助言を踏まえて、今年度中に発行し、HPで公表する。
- (2) 次年度に自治協議会等の場で、広報誌を周知する。
- (3) その後、橋梁の老朽化に伴い、通行規制が必要になった場合に、地元への説明の際に使用する。

## 5. これまでの検討時における主な指摘事項と対応案について

## ■ 令和6年8月9日 新潟市橋梁アセットマネジメント検討委員会の事前打合せ

項目	内容	対応案
(1) 広報誌への修繕費用の掲載について	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 広報誌の内容として、新潟市が管理する橋梁の全体像に関する話は必要で、広報におけるキーワードは「共感」だと思っています。特に財源に関しては、維持管理にどの程度のお金を掛けられるのか、あまりお金を掛けられないこと、なぜこのような維持管理の状況になっているのか等も伝える必要があると思います。(宮下委員)</li> <li>○ 財政については共感の持てる広報誌になれば良いと思います。(中村委員)</li> </ul>	広報誌に点検・修繕の費用を掲載する。
(2) 紙媒体以外での広報	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 紙媒体では、配布数や配布先が限られてしまうため、いろいろな媒体を屈指して発信する方法を検討しても良いと思います。ある程度手間が掛かっても、良いものを作っていただくようお願いします。(阿部委員)</li> <li>○ 多様な媒体でのPRは重要で、スマホで簡単に手に取れる情報発信も必要だと思います。(中村委員)</li> </ul>	今年度は、ベースとなる紙媒体による広報誌を作成し、HPに掲載する。
(3) 興味を持ってもらう手段	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市民に対してどのように伝えるのが難しい点ですが、親身に思ってもらうためにも、市民が自分の住んでいる地域の状況を知ることのできる内容が良いと思います。災害ハザードマップであれば、自分の住んでいる地域を確認すると思うので、そのイメージで伝えていけると広まるきっかけになると思います。(宮下委員)</li> <li>○ 「東京防災アプリ」が非常に分かりやすいので参考にしてください。(中村委員)</li> </ul>	新潟市の平面図を掲載し、住んでいる地区に橋があるのかを確認できるようにする。
(4) 小学生向けのPR	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 橋梁の集約化を長期で進めていくためには、小学生向けのPRも検討いただきたい。(佐伯委員)</li> </ul>	小学生高学年でも読めるように、ルビを入れる。
(5) 市民への依頼	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 今回の広報誌の目的は「市民に知ってもらう」ことだと思いますが、市民にとっては壊れたら直すことが当たり前と認識しているのではないのでしょうか。直せない理由や、直すために協力してもらいたいといった趣旨を柔らかい表現で伝えられると良いと思います。(田村委員)</li> </ul>	広報誌に不具合を見つけた際の通報依頼を掲載する。

## ■ 令和6年11月26日 市民広報手法検討部会

項目	内容	対応案
(1) 表紙・タイトル	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「これからの橋の計画、あなたと一緒に」等のように親しみやすく、市民に寄り添うタイトルに修正する</li> <li>○ 有明大橋の修繕状況について、説明を加える。</li> </ul>	反映済み
(2) 全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 難しい用語にはフリガナをつけ、難しい単語は易しい日本語に修正</li> </ul>	反映済み
(3) 「全国における橋の現状」のページ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「老朽化」というワードを入れ、その先の話に繋がるような工夫を検討する。</li> <li>○ 人口減少の内容は、「人手不足で担い手も不足している」を追記してはどうか。</li> <li>○ 「点検と修繕の重要性」は「医療」ではなく「歯」の治療で表現するよう検討する。</li> </ul>	反映済み
(4) 「新潟市における橋の現状」のページ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市域の地図はデザインの色味を調整する（特に背景色と区の境界線のコントラスト）</li> </ul>	反映済み
(5) 「これからの橋の計画」のページ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 貝柄地区での取組みを載せるページは、市民に掲載許可をもらえるなら意見交換の様子分かる写真等を載せる。</li> </ul>	反映済み
(6) 「異常を見つけたら」のページ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 橋の異常とはどのような状況なのか、市民が何を通報すべきなのかが分かるような表現を検討する。</li> <li>○ 「ひび割れ」の写真が分かりにくい。「ひび割れ」が目立つような写真や、鉄筋が剥き出しになっているような剥離の写真に差し替える。</li> <li>○ 絵の中間支点部は、桁の隙間に支承が刺さっているような表現は修正し、ポップな表現だとしても構造上あり得ない表現にならないよう検討する。</li> <li>○ 「支承」等の専門用語はもっと分かりやすい表現で説明する。</li> </ul>	反映済み